



日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは

こうへい
山田耕平
です

2023.3.23 No.474

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください！

杉並区善福寺 2-2-11

TEL 090-9973-0941

ホームページ

<http://yamadakohei.jp>

右QRコードを
ご活用下さ



岸本区政で初の新年度予算の特徴

杉並区 新年度予算での前向き変化多数

新年度の主な新規・拡充予算

○聴くオフ・ミーティング (年5回→10回に拡大)	350万円
○感震ブレーカー設置加速化等	185万円
○障害・介護・保育施設等への 食糧・光熱水費支援	3億8,510万円
○学校給食費保護者負担軽減	4,617万円
○高齢者補聴器購入費助成	460万円
○带状疱疹ワクチン接種助成	943万円
○ヤングケアラーの支援	689万円
○子どもの権利擁護の推進	1,200万円
○パートナーシップ制度の実施	170万円
○就学援助対象者の拡大	3億8,487万円
○気候区民会議の開催検討	48万円
○グリーンスローモビリティ導入に向けた 取組	1,119万円

来年度予算に盛り込まれなかった施策について、予算特別委員会の質疑を通じて、速やかな実施を求めました。

さらなる拡充求め論戦

就学援助の対象拡大、補聴器購入費助成、带状疱疹ワクチン接種助成、学校給食費保護者負担軽減、照明LED化助成対象拡充などは、党区議団が議会質疑や予算要望、区長申し入れ等で実施を求め続けてきたものです。岸本区政のもとで、直ちに予算化されたことは重要な変化です。

3月15日に閉会した杉並区議会第1回定例会では、岸本区長が提案した一般会計予算案が賛成多数で可決・成立しました。

新年度予算には、日本共産党杉並区議団が求めて続けてきた多くの施策が盛り込まれています。

就学援助の対象拡大、補聴器購入費助成、带状疱疹ワクチン接種助成、学校給食費保護者負担軽減、照明LED化助成対象拡充などは、党区議団が議会質疑や予算要望、区長申し入れ等で実施を求め続けてきたものです。岸本区政のもとで、直ちに予算化されたことは重要な変化です。

党区議団の提案が実現 くらし・福祉優先へ

今週のコマ

「区長は変わった 次は議会だ」 政党会派の枠を超え、予定候補者が集結

3月21日、西荻アピールの会が主催する共同街宣が行なわれました。政党や会派の枠を超えた19名の区議予定候補者が集結、区政を前に進める決意を訴えました。

区長が交代し、住民との対話を重視する区政運営が開始されています。次は杉並区議会の議員構成を変える必要があります。みなさんのご支援で、区政に押し上げてください。



杉並区政史上初となる共同街宣に。

深刻化する物価高騰対策として、光熱費への助成等の諸施策や家賃助成制度の早期実施、学校給食費の無償化などについても、新年度の途中でも実施するよう求めたところ、杉並区も補正予算での対応も含め、検討する姿勢を示しました。

高齢者補聴器購入費助成制度

- 対象 杉並区に住所を有する65歳以上で、医師に必要性を認められた者
- 助成額
 - ・購入額（助成基準額13万7千円以内）に住民税の課税・非課税での助成比率をかけた額。
 - ・住民税非課税世帯 購入費の3分の1（上限額 4万5700円）
 - ・住民税課税世帯 購入費の6分の1（上限額 2万2900円）
 - ・実施予定 2023年6月

照明LED化助成 対象拡大

- これまで 区内事業所を対象に、照明LED化に対し30万円助成、ただし事業主は区内在住が要件
- 対象拡大 事業主が区内在住でなくても助成対象に拡大